

6/24(月)から夏休み前長期貸出中！**1人5冊、8月22日(木)まで借りられます**

無事に清風祭も終わり、いよいよ夏休みが近づいてきました。

進路実現のために、何かと忙しい日々を送る人も多いと思いますが、新着本も入ってきますので、ほっとひと息、落ち着いて本を読んでみるのはいかがでしょうか？

長期貸出期間中は何度でも借りることができますので、ぜひ図書室に足を運んでみてください。

※夏休み中は図書館を閉館します

また本日から読書感想文コンクールへの募集を始めます。

読書の楽しさを知り、自分の考えを表現する力を養うためにも是非、挑戦してみてください！！

読書感想文提出期限**3年生文章表現選択生徒→夏休み明け最初の授業で必ず教科担任に提出****3年生文章表現選択生徒以外の応募希望生徒→8/22(木)までに図書室に提出****7月新着予定本****全36冊(内、生徒用28冊)****日の名残り ノーベル賞記念版**
カズオ・イシグロ/土屋 政雄(訳)
早川書房**イラクサ**
アリス・マンロー/小竹由美子(訳)
新潮社**翻訳小説の世界**

あまりなじみがないかもしれません、海外の翻訳小説を紹介します。

毎年12月に授賞式が行われるノーベル文学賞を受賞した作家に、カズオ・イシグロという作家がいます。名前からわかるように日本人のルーツを持つイギリス人ですが、代表作『わたしを離さないで』(図書室にあり)は、日本でもドラマ化されたり、イギリスでも映画になったりしています。今回入る『日の名残り』も映画になっています。映像と文章を味わうのも乙なものです。「どうしてこの大事な(と思われる)場面を映像化しないの？」など勝手に比較するのは楽しいです。それからアリス・マンロー。ついこの間92歳で亡くなったカナダ人の作家で、短編小説の名手です。(確か文学賞受賞時には、もうすでに筆を折っていて会見にも臨まなかったはずですが。)人のこのころの機微にふれるような味わいがある小説です。

今回は大学の先生が執筆した本も入りました。専門的なことがわかりやすく書かれていますので、海外(英米露伊)文学、日本文学(巷ではやりの『源氏物語』関連)など興味のある人には、ちょっと背伸びして読んでもらいたいです。

その他、海外の翻訳小説が入ってきます。
折を見て読んでみてください**理科の先生おすすめ本****はたらかない細胞(1)**
杉本萌(著)/清水茜(原作)
講談社
全5巻**はたらく血小板ちゃん(1)**
ヤス(著)/柿原優子(原作)/清水茜(監)
講談社
全4巻**はたらく細胞WHITE(1)**
蟹江鉄史(著)/清水茜(監)
講談社
全4巻

『はたらく細胞』のスピノフ3作。『はたらかない細胞』は、何かと理由を付けて赤血球になろうとしない問題児j5人組と彼らを何とか赤血球にしたいマクロファージ先生の物語。『はたらく血小板ちゃん』は、血小板の活動の4コマ漫画。『はたらく細胞WHITE』は、新人の桿状核球とその指導係の物語。本編『はたらく細胞』と合わせて読んでみて。

理科 安部泰彦先生コメント

6月末クラス別利用状況

クラス 学年	1組	2組	3組	4組	職員	計	総計
1年	1	0	0	7		8	46
2年	2	10	1	1		14	
3年	0	6	0	8		14	
職員					10	10	